

# 〈ケア〉を考える会 (第176回)

■日時: 2024年6月2日(日) 13:30~16:00

■会場/参加方法 ※申し込みが必要です(氏名、携帯番号、メールアドレスをお知らせください)

① 川崎医療福祉大学 4階 4001演習室 (倉敷市松島 288)

- ▶ 入り口⇒1階の防災センター / 大学のスリッパに履き替える
- ▶ 駐車場⇒大学敷地内の職員駐車場(1時間100円)

② オンライン(Zoom)……会場より発信します

- ▶ ミーティングID/パスコード  
⇒ 申込者にお知らせします

■発表者: **田中 順子** さん (精神科作業療法士)

今年3月まで川崎医療福祉大学作業療法学科教授。7年前から精神障害者を含む一般市民を対象とした”イムズミュージック”という音楽ワークショップを、倉敷市内でミュージシャンと共に実施。



■テーマ: 「**イムズミュージックがやってきたこと、目指しているもの**」

イムズミュージックは従来の音楽療法とはまったく異なる活動を行っている。その目的や実施内容を、ドキュメンタリー映画『イムズミュージック』の上映も含めて紹介したいと思う。(田中)

## イムズミュージックとは

2017年に倉敷の街に生まれた音楽のワークショップだ。川崎医療福祉大学教授で作業療法士の田中順子が、世界的にも有名な音楽学者若尾裕とガムラン奏者岩本象一と共に始めた。

そこに集うのは、どこか生き辛さを感じている人、ずっと死にたいと思ってきた人、どこにいても何となく居場所のなさを感じている人、そして一見ごく普通に目える人たちなどだ。イムズでは決して誰かを孤立させず、Fragileな感性を大切に、誰をも受け入れる。「**異質な音楽**」の創造が繰り広げられ、変性意識の舞台のように自分を解放し、新しい自分と出会う。

ドキュメンタリー映画「イムズミュージック」は、こうしたイムズミュージックの営みを、映像作家吉川寿人が1年半にわたって撮影し、制作されたものである。

川崎医療福祉大学 田中順子教授  
最終講義案内より抜粋

■懇親会: 17:00頃~19:00頃 食べながら飲みながら語り合います (会場未定)

■参加: どなたでも参加できます。初参加歓迎。参加費無料 (懇親会参加者は有料)

■申込/問合せ: 林道也まで ⇒ michi-care@outlook.jp 090-5366-1497

- ▶ 7月例会: 7月7日(日)13:30~ 「よりあい場あ(BAR) ねむの木」(真備町)で開催予定(Zoom オンライン有)
- ▶ 8月例会: 8月4日(日)13:30~ 京都市下京区(五条)の会場で開催予定(Zoom オンライン有)